

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: Modesta PRIVATE LABEL - Top Coat
製品コード	: 00282
製品グループ	: 取引製品

会社情報

製造業者

株式会社モデスタ
761-8075
日本香川高松市東ハゼ町 20-3
www.modesta.co

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 粉じん、ミスト)	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分 1B
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分に該当しない

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する有害性	誤えん有害性 水生環境有害性 短期（急性） 水生環境有害性 長期（慢性） オゾン層への有害性	区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 分類できない
-----------	---	--

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 発がんのおそれ (H350)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)

: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)

: 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
(P308+P313)

保管

: 施錠して保管すること。(P405)

廃棄

: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
(P501)

処理時の追加危険有害性

: 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
テトラフルオロエチレン	0.1	C2F4	(2)-112	既存化学物質	116-14-3

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合

: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

: 皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合

: 予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合

: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合

: ヒト及び動物に対する毒性データは知見されていないが、本製品は吸入危険有害性と見なされる。

症状/損傷 皮膚に付着した場合

: 通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 眼に入った場合

: 通常の条件下では特に無し。

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

症状/損傷 飲み込んだ場合 : 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的被害を防止するためにも流出したものを作吸すること。
-------	--

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 出動は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
------------	--

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 砂または土により、すべての拡散した製品を吸收する。 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。 可能であればリスクなく漏出をせき止める。
浄化方法	: 吸收剤の中で拡散した液体を吸收する。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

技術的対策

- データなし
- 作業所の十分な換気を確保する。
使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。
- 取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。
- 部屋の排気および全般的な換気を確保する。
- 個人用保護具を着用する。
- 危険エリア内の床、壁、その他の表面は定期的に清掃しなければならない。

接触回避

衛生対策

処理時の追加危険有害性

保管

安全な保管条件

- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

技術的対策

混触禁止製品

容器包装材料

保管温度

- 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 強塩基。強酸。酸化剤。
- 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。
- 22 °C

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具

- 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具

- [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
使い捨て式空気浄化呼吸器(APR)		短期ばく露	

手の保護具

- 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR) クロロプロレンゴム (CR)	6 (> 480 分)	0,4-0,7		EN ISO 374-1 EN ISO 374 EN 374-2

眼の保護具

- 安全メガネ

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ		サイドシールド付き	EN 166

皮膚及び身体の保護具

- 適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
	EN ISO 6529
	EN ISO 20345

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境へのばく露の制限と監視

: 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
外観	: 液体
色	: 無色
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: > 100 °C
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 区分に該当しない(分類対象外) (粉じん、ミスト)

テトラフルオロエチレン (116-14-3)	
急性毒性 (経口)	GHS の定義におけるガスである。
急性毒性 (経皮)	GHS の定義におけるガスである。

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

テトラフルオロエチレン (116-14-3)	
急性毒性 (吸入:気体)	ラットを用いた吸入ばく露試験（ガス）の LC50 (4 時間) 25,000 ppm (ACGIH (7th, 2001))、31,000 ppm (NITE 初期リスク評価書 (2007))、40,000 ppm (ECETOC JACC (2003))、45,000 ppm (ACGIH (7th, 2001)) に基づき、区分外とした。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義におけるガスである。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	GHS の定義におけるガスである。
LC50 吸入 - ラット [ppm]	25000 ppm
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない
テトラフルオロエチレン (116-14-3)	
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分に該当しない
テトラフルオロエチレン (116-14-3)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	HSDB (Access on July 2013) のヒトばく露に関する記述「眼への接触により、軽度の刺激性を示す」から、区分 2B とした。
呼吸器感作性	: 分類できない
テトラフルオロエチレン (116-14-3)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: 分類できない
テトラフルオロエチレン (116-14-3)	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: 分類できない
テトラフルオロエチレン (116-14-3)	
生殖細胞変異原性	分類ガイドンスの改訂により、「区分外」が選択できなくなつたため、「分類できない」とした。すなわち、In vivo では、マウスの末梢血赤血球を用いる小核試験で陰性である (NITE 初期リスク評価書 (2007)、ACGIH (7th, 2001)、IARC 71 (1999)、NTP DB (Access on July 2013))。さらに、in vitro では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞を用いる遺伝子突然変異試験及び染色体異常試験で陰性である (NITE 初期リスク評価書 (2007)、ACGIH (7th, 2001)、IARC 71 (1999)、IUCLID (2000))。

発がん性 : 発がんのおそれ

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

テトラフルオロエチレン (116-14-3)

発がん性	<p>【分類根拠】ヒトでの発がん性についての情報は、(4)に限られている。</p> <p>(1) の IARC の分類結果及び(2)、(3)の試験結果に基づき、区分 1Bとした。IARC の 2017 年分類見直し変更に伴い、旧分類を見直した結果、区分を変更した。【根拠データ】(1) IARC は、ラット、マウスのいずれにも複数の部位に腫瘍を誘発し、発生学的起源の異なる細胞に影響を及ぼすという動物試験の結果に基づき、分類区分を 2A に格上げしている (IARC 110 (2017))。他の国内外の分類機関による既存分類としては、ACGIH が A3 (ACGIH (7th, 2001))、日本産業衛生学会が第 2 群 B (産衛学会許容濃度等の勧告 (2018) : 2001 年提案)、NTP が R (NTP RoC (14th, 2014)) にそれぞれ分類している。(2) ラットに 2 年間吸入ばく露した試験において、雌雄に腎細胞腺腫と腎細胞がんの増加、肝細胞腺腫と肝細胞がんの増加が、雌に肝臓の血管肉腫の頻度増加が認められ、さらに雌雄に単核細胞白血病と雄の精巣間細胞 (ライディッヒ細胞) 腺腫の頻度の増加もみられた (NTP TR450 (1997)、IARC 110 (2017))。(3) マウスに 2 年間吸入ばく露した試験において、雌雄に肝臓の血管腫・血管肉腫、肝細胞腺腫と肝細胞がん、組織球肉腫の増加が認められた (NTP TR450 (1997)、IARC 110 (2017))。【参考データ等】(4) ヒトでは本物質ばく露により、肝がん・腎がん・白血病の SMR (標準化死亡比) に中等度の上昇 (有意差なし) がみられたとの報告がある。IARC は他物質ばく露による交絡要因の可能性が高く、精度は低いとしている (IARC 110 (2017))。</p>
IARC グループ	ヒトに対しておそらく発がん性がある

生殖毒性 : 分類できない

テトラフルオロエチレン (116-14-3)

生殖毒性	データ不足のため分類できない。
------	-----------------

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分に該当しない

テトラフルオロエチレン (116-14-3)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	実験動物については、ラットに 4,000 及び 6,000 ppm の吸入ばく露により、血中尿素窒素、尿量、尿中グルコース排泄量、アルカリホスファターゼ活性、 γ -グルタミルトランスペプチダーゼ活性の増加がみられたとの記述 (ACGIH (7th, 2001)、NITE 初期リスク評価書 (2007)) があることから、腎臓及び肝臓が標的臓器と判断した。なお、実験動物に対するこれらの影響は区分 2 に相当するガイダンス値の範囲でみられた。以上より、区分 2 (腎臓、肝臓) とした。
-----------------	---

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分に該当しない

テトラフルオロエチレン (116-14-3)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	実験動物については、ラットの 2 年間吸入ばく露試験において、雄では 156 ppm のばく露で尿細管の変性、肝臓の囊胞変性がみられた (NITE 初期リスク評価書 (2007)、ACGIH (7th, 2001)) との記述があることから、腎臓及び肝臓が標的臓器と考えられた。なお、実験動物に対するこれらの影響は区分 2 に相当するガイダンス値の範囲でみられた。以上より、区分 2 (腎臓、肝臓) とした。
LOAEC (吸入、ラット、粉じん/ミスト/煙、90 日)	0.638 mg/l air 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 453 (慢性毒性/発がん性の組み合わせ研究)

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

誤えん有害性 : 区分に該当しない(分類対象外)

テトラフルオロエチレン (116-14-3)

誤えん有害性	GHS の定義におけるガスである。
--------	-------------------

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期（急性）	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 区分に該当しない

テトラフルオロエチレン (116-14-3)

水生環境有害性 短期（急性）	データなし。
水生環境有害性 長期（慢性）	データなし。
LC50 - 魚 [1]	378.79 mg/l 試験生物（種）：その他：魚
EC50 96h - 藻類 [1]	64.17 mg/l 試験生物（種）：その他：藻類

残留性・分解性

Modesta PRIVATE LABEL - Top Coat

残留性・分解性	急速分解性でない
---------	----------

テトラフルオロエチレン (116-14-3)

残留性・分解性	急速分解性でない
---------	----------

生体蓄積性

Modesta PRIVATE LABEL - Top Coat

生体蓄積性	データなし
-------	-------

土壤中の移動性

Modesta PRIVATE LABEL - Top Coat

土壤中の移動性	データなし
---------	-------

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。

地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報 : 空の容器を再利用しない。

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Top Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)	: 非該当
正式品名 (UN RTDG)	: 非該当
容器等級(UN RTDG)	: 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報	: 補足情報なし
--------	----------

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9） テトラフルオロエチレン（政令番号：368）（5%未満） がん原性物質（安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号）
水質汚濁防止法	: 有害物質（法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条）
大気汚染防止法	: 挥発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達）
外国為替及び外国貿易法	: 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2（輸出の承認）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	: 特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号）
水道法	: 有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）
下水道法	: 水質基準物質（法第12条の2第2項、施行令第9条の4）
土壤汚染対策法	: 特定有害物質（法第2条第1項、施行令第1条）

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。